資料1-2

地方創生関連交付金事業

「建築ストックを活かしたリノベーションシティ・小樽」

《概要》(地域再生計画より)

市指定歴史的建造物「旧寿原邸」においてリノベーション学校を開校し、本市建築ストックの再生を図るための拠点として活用する。

市内中部地区に所在する空き家や「旧寿原邸」を DIY 講座・修復実習の題材としながら、修繕済みの空き家については「小樽市空き家バンク」への登録を進め、移住ワンストップ窓口と連動しながら、移住希望者とのマッチングを行なう。また、「旧寿原邸」をお試し移住施設としても活用することにより、移住希望者を積極的に呼び込むとともに、「旧寿原邸」におけるリノベーション作業や、文化芸術と融合した新たな魅力を国内外に発信し、建築ストックの有効活用を図る。

平成 29 年度実施事業

◎地方創生拠点整備交付金

・ 旧寿原邸のリノベーション事業①

総事業費:38,788,200円 交付金額:19,394,100円

29,491,460 円

市指定歴史的建造物「旧寿原邸」をリノベーション学校として、中部地区の交流拠点施設として、又お試し移住・簡易宿所として利用出来るようにするため、施設の延命化を図りつつメンテナンスコストを削減し、利用者の安全を確保するため、屋根部分等を機能強化する改修を行う。

・ 旧寿原邸のリノベーション事業②

6,214,868 円

旧寿原邸は大正時代に建てられた古い建築物であり、台所・トイレ・浴室・暖房設備については故障しているため、現在の生活様式に合った施設に改修することで機能強化を図る。

・ 旧寿原邸のリノベーション事業③

591,292 円

旧寿原邸をお試し移住施設・簡易宿所として活用するため、照明設備及び消防設備(誘導灯)の設置を行う。

・空き家マッチング実証実験事業

942,840 円

空き家の所有者・利用希望者向けに相談会や空き家利活用セミナーを開催し、リノベーション可能な物件を収集しつつ、空き家マッチングのニーズ調査を行う。

・屋根取壊し工事

1,547,740 円

屋根の改修に際し、既存屋根の取壊しを行う。

◎地方創生推進交付金

総事業費:5,385,960 円 交付金額:2,692,980 円

・リノベーションまちづくりワークショップ開催事業

1,098,360円

リノベーション学校のカリキュラム構築に向け、ワークショップや公開講座、リノベーション活用事例の見学ツアーを開催し、参加者にアンケートを実施しモニタリングする。

・空き家の所有者意向調査

2,127,600円

「空家実態調査(H27 実施)」に基づき、市内中部地区の良好空き家について、所有者意向調査を実施し、売買・賃貸の意向のある物件について「小樽市空き家バンク」への登録を促すとともに、リノベーション学校の実習に活用できる物件選定を行う。

お試し移住施設の基本設計

2,160,000円

お試し移住施設部分の基本設計を行う。

◎ KPI の達成状況

KPI	H29 目標値	H29 実績値
①移住相談件数のうち実際に移住した世帯数	6	4
②移住ワンストップ窓口と連動した空き家のマッチング件数	10	0
③空き家バンク登録件数	0	0

«現状分析»

移住世帯数は前年度より減少し、4世帯に留まった。少数となった要因は不明だが、総合的な情報提供を行うことで潜在的な移住希望者の掘り起こしを行い、体験ツアー参加者などの生の声を聞き、今後の支援のヒントを探りきめ細やかなフォローアップに繋げるほか、丁寧な相談対応に努め、移住者の獲得を目指したい。

また、空き家所有者の意向調査を実施した結果、空き家バンクに登録したいと回答した方は確認できたが登録までには至らず、マッチングも行えなかった。引き続き、良好空き家の所有者に対し売買・賃貸等の意向調査と空き家バンクへの登録を促し、マッチングに繋げたい。

平成 30 年度以降予定事業

◎地方創生推進交付金

○**平成 30 年度** 総事業費:13,400,000 円 交付申請額: 6,700,000 円

・リノベーションまちづくり開催事業4,100,000 円・空き家の所有者意向調査2,300,000 円・お試し移住部分の改修7,000,000 円

○平成 31 年度 総事業費: 7,150,000 円 交付申請予定額: 3,575,000 円

・ リノベーションまちづくり開催事業 2,900,000 円

・移住体験ツアーの商品化に向けた実証実験 770,000 円

・ 小樽ビエンナーレ等の開催に向けた実証事業 3,480,000 円